



しっかり聞いて、考え、書いたり伝え合ったり

1年生教室では、先生が手を3回パンパンパンと叩くと、子どもたちが「みてね」と声を揃えると同時に、背中をピンとさせて、**相手の方を向いて話をしっかりと聞く学習規律**が整えられてきています。後ろから見ると、頭が動かない、背筋がきれいに伸びた後ろ姿を見ることができます。

2年生では、相手の発表を聞いて、**内容について質問したり、お返しをしたりしながら話し合い**を行う学習があつっていました。感想をノートに、**自分の言葉で書き込んでいました。**

聞く、書く、話す・・自分の考えを表現していく力を高めている1・2年生です。とても立派な姿に感心しました。



課題を課題のまま終わらせない！

昨年度は、県学力学習状況調査等で、著しい高まりが見られたすばらしい結果を残すことができました。子どもたちが持ち得ている力をしっかりと発揮できたことは、子どもたちと職員の頑張り、そして家庭や地域での励ましの賜物です。

ただ、喜ぶだけではいけません。各学力調査で本校児童の課題も明らかになりました。特に、文章の読み取りや、自分の考えを文章で書くということが苦手な傾向にあるということです。

そこで、**今年度は、全学年で「書く」ことにこだわって、授業や取組を展開しています。**課題が明らかになっていながら、何も手立てを打たなければ、課題は課題のまま残ってしまい、力はつかないまま進級して、また次の年も同じ結果になってしまいます。例えば、水泳の授業で、泳げない理由をつかみ、息継ぎにつまずいているなら、息継ぎの仕方を身に着ける授業を展開すれば課題は解決されるのです。逆上がりができない子どもに、ただ根性論で「頑張れ、頑張れ」と言い続けても無意味なのです。だからこそ、絶対に**「課題を課題のまま終わらせない！」**という思いで、**課題解決のための具体的手立てを打ちながら、全校をあげて取り組んでいるところです。**

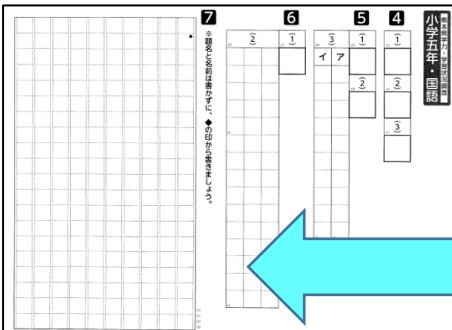
まず、金曜の朝活動を**「国語タイム」と位置づけました。**そこで、学年の発達段階に応じて、新聞を活用したワークシートを使って、読み取ったことを書いたり、自分の考えを書いたりすることなどにも取り組んでいます。

また、5・6年生には、この**新聞記事を読んで、自分の考えをワークシートに書く**という宿題を週末の学習課題として週に1回出しています。（資料2）

下の資料1をご覧ください。これは学力調査の解答用紙です。最後の問題が「条件付き作文」と言われるもので、どの学力調査でも、1年生は90字（15字×6行）、2年生は105字（15字×7行）、3年生は160字（20字×8行）、4年生は180字（20字×9行）、5年生と6年生は200字（20字×10行）となっていることが多いです。40分という短い時間で、初めて見る文章を読んで、内容を読み取って、問題の意図をつかんで、考えを書いていく必要があります。この条件付き作文にかけられる時間は単純計算で5～10分の間になるでしょう。とても難しいことですね。しかし、これが今求められている力なのです。様々な資料や話、情報から内容をつかみ取り、それに対して自分の考えを持ち、相手に伝わるように表現していく力が求められています。だからこそ、そうした力を高めるための取組を行っているのです。

資料1と2を見比べれば、その関連性が見てこられると思います。子どもたちは「難しい」と言うかもしれません。それでも、一歩一歩力をつけていくために必要なことですので、温かい見守りをお願いします。

資料1



読み取る力
表現する力

資料2



新聞を読んで、自分の考えを表現しよう
(二年 番号)